

実践事例の紹介 - 理科・生活科 -

○高津梓 加部清子 堀江俊丞 河島哲 田上幸太 菅野佳江 田中麻衣

1. 小学部「生活単元学習」単元名「きゅうりで りりり!」

文責:加部清子

〈家庭との関連〉収穫したきゅうりは家庭に持ち帰り、各家庭の食卓に上りました。9月には黄色く熟したきゅうりを持ち帰りました。種が取れることを紹介すると、実践し、取った種を持参した児童もいました。

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	1・2年	12時間(+水やりは毎日)	5月~7月

次	1	2	他教科との関連(生活単元学習として実施)		
小単元	きゅうりをうえよう	きゅうりをそだてよう	国語	算数	体育
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 畑の草取りをする。 きゅうりの苗を植える。 	<ul style="list-style-type: none"> 水やりや肥料やり、剪定などをする。 きゅうりの観察(葉の手触り、葉の数、巻きひげの有無・様子、苗の大きさ、花の色、花や実の有無、実の大きさなど)をし、写真を撮る。写真を見合う。 きゅうりの収穫をする。 きゅうりはどっち?クイズ(苗、花、表面、断面図などを他の野菜と比較)をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やさいのおなか」の絵本の読み聞かせを聞く。 「やさいのうた」の手遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 葉や花、実を見つける。 葉や花、実の数を数える。 きゅうりの苗と背比べをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きゅうりりりたいそう」をする。 手洗いの方法を知り、石鹸できれいに手を洗う。
※ 小学部では、低学年は主に合わせた指導において、中高学年は「生活科」として、理科につながる内容を取り扱っています。					

2. 中学部「理科」単元名「昆虫に詳しくなろう」

文責:堀江俊丞

〈他教科との関連〉
・生活単元学習では、「A生命ア」に関連する学習として「植物を育てよう」、「昆虫を飼育しよう」の単元を行なっています。理科で学習したことを土台に観察しながら、成長の順序や生命の特徴を捉えています。また、学習発表会の際に沖縄の海の生き物について調べ、特徴をクイズや新聞にしました。
・国語では、図鑑(生物や宇宙)を用いて、調べ学習を行い、調べたことをまとめる活動に取り組みました。

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	9人ずつのA・Bグループ	11時間	5月~7月

次	1	2	3
小単元	昆虫を観察してみよう	昆虫の棲家を考えよう	昆虫の体や一生を表現しよう
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 虫眼鏡の使い方を知る。 虫眼鏡を使って昆虫を観察(足の本数、体の構成について)し、イラストで表現する。 イラストの振り返りを通して、昆虫の特徴を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 虫の住んでいる場所を体育館に大きく投影し、昆虫が住んでいる場所について知る。その後、昆虫の写真を貼りながら、学習したことをまとめる 春夏に見られる昆虫の違いを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘土とモールを用いて、昆虫の体の部位(頭、胸、腹)と6本の足を表現する。 昆虫の一生を絵本や動画で確認し、ワークシートにまとめる。 学習してきた内容のクイズに取り組み。

本単元は、中学部1段階の「A生命ア」を取り扱った学習になります。授業の成果として、昆虫だけに焦点を当てたことや地域資源を活用し、出張授業で多くの標本を見たことで、生徒の興味関心の高まりや理解の深まりが見られました。

3. 高等部「理科」単元名「流れる水の働きと変化」

文責:河島哲

〈他教科との関連〉
・社会科 修学旅行に向けた学習の一環で長崎の観光名所「眼鏡橋」について学習しました。1982年の水害で一度壊れてしまった眼鏡橋を再建するにあたり、川幅や橋はそのままにして、兩岸の地下に暗渠式のバイパス水路を設けていることを学習し、現地で実際に見て確認しました。

(1) 単元概要	学習形態	授業時数	実施時期
(2) 指導の流れ	2年	4時間	10月~11月

次	1	2	3
小単元名	川の流れの様子	流れる水の働き	長雨や集中豪雨がもたらす川の増水による自然災害。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 川の上流、中流、下流の流れの速さ、川の幅、岸の様子、石の様子などに注目し、ワークシートにまとめる。 水は高い方から低い方へと流れ、川を流れているのは水だけでないことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 流れる水による浸食、運搬、堆積の3つの働きを実験を通して確認する。 流れる水が削る、運ぶ、積もらせる場所に注目して観察をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川で、どのような場所が洪水などの災害が起きやすいか、防ぐための工夫を考え発表する。 災害を防ぐために行われている工夫の実際について、上流、中流、下流での違いを動画を参考に確認する。

